

友好縁組担当委員会

委員長 住 谷 幸 伸

副委員長 鈴 木 雅 博

矢島ロータリークラブとの友好クラブ締結のきっかけは高松市と矢島町の友好都市提携である。江戸幕府は旧高松藩主の生駒高俊がお家騒動を抑えきれない責任を追及して、寛永17年(1640年) 7月26日に領地を没収して流罪とした。高俊には由利郡矢島(現在の秋田県由利本荘市矢島町と鳥海町の部分)で1万石を堪忍料として与えられ、矢島村に陣屋を構えたことに由来する。矢島町の佐藤町長がロータリアンということで、2003年9月5日に友好クラブの関係を結んだ。

韓国天安(チョナン)ドソルロータリークラブとの縁組は青年組織が交流を深めていた安市との間で高松市が友好提携を検討していたことに由来する。2009年4月14日の弊クラブ創立40周年記念式典に合わせて締結式を行った。その後、青少年の交流事業を実施するなど、活発な交流を続けてきた。

水戸南ロータリークラブとの友好関係の縁組は水戸藩主徳川頼房の長男として生まれた松平頼重が、讃岐国高松藩12万石に転封されたことによる。頼重は弟の光圀と嗣子を交換し、光圀の長男頼常を養子として高松藩を継がせた。この縁で高松市と水戸市は友好関係にある。弊クラブが輩出した木村大三郎ガバナーと水戸南ロータリークラブが輩出したガバナーとの間の話し合いで、2015年5月22日に友好関係の締結を行った。以降周年記念行事に参加するなど、交流が続いている。

交流の基本は相互訪問をして親睦を深めることであり、弊クラブも2029年に創立60周年を控えており、機会を見つけて各クラブを訪問し今後の交流事業について協議したい。